

地域のお客様が新たなセカイへ進むチカラになるために

～岐阜支店は開業から今年7月で120周年～



株式会社 三菱UFJ銀行
岐阜支店

支店長

明東 徹氏

- 住 所：【本部】
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
【岐阜支店】
岐阜市神田町9-19
- T E L：058-265-8391
- U R L：https://www.bk.mufg.jp/
- 事業内容：総合金融業
- 従業員数：【岐阜支店】54人

■ 大垣支店、多治見支店と岐阜支店の3カ店で岐阜県下をサポート

聞き手：まずは事業内容からお伺いできますか。

明東支店長：岐阜県下では、岐阜支店の他に、大垣支店、多治見支店と3カ店でお客様のビジネスを金融面でのサポートを中心にお手伝いしています。フルバンキング機能を備えており、関連会社を含めて、様々なサービスをご提供することで、お客様が抱える経営課題の解決を目指しています。

聞き手：貴行、特に岐阜支店の歴史についても教えてください。

明東支店長：当店の源流は、弊社の前身である東海銀行の、更に前身の銀行による1904年7月の岐阜支店開設に遡り、今年で開業120年となります。東海銀行当時は“地区母店”の機能を有し、相当な店舗網と職員数を備えておりました。東海銀行は2002年に三和銀行と合併してUFJ銀行に、さらに2006年三菱東京UFJ銀行（現三菱UFJ銀行）となりました。その後、関支店、笠松支店、各務原支店を統合することで機能を集約、効率化を追求してきた経緯があります。

岐阜支店は元々柳ヶ瀬にありましたが、岐阜駅前支店や近隣にあった三和銀行の岐阜支店と統合し、元々岐阜駅前支店があった現店舗で営業しております。

聞き手：ホームページを拝見しますと、MUFG* Wayのうちパーパス（存在意義）として「世界が進むチカラになる。」という言葉もあります。

※三菱UFJフィナンシャル・グループの略称

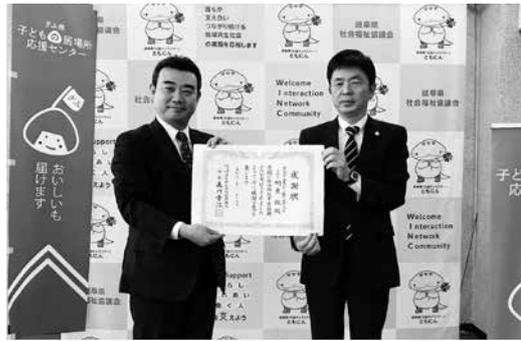
明東支店長：岐阜県には有数の地方銀行・信用金庫が圧倒的な店舗網を有しており、通常の銀行業務は十二分なエリアだと言えます。そこに敢えて、弊行が店舗を構えお客様にお取引いただくためには、他とは異なる強み、すなわち日本から世界へ広がる店舗網や、グループ各社の事業力、多種多様なサービス等をお客様の事業発展にどう繋げていくのかが大事だと考えています。

「世界が進むチカラ」という言葉は各地域、各支店によってカスタマイズするべきだとも考えています。岐阜のお客様は我々に何を求めておられるのかを考えた時に、どのようなサービスをご提案すべきなのか、お客様同士をどのように繋げていけるのか、さらには未知なる世界へといかに繋げていけるのかが我々の付加価値なのではないかと考えています。

■ 地域をどう盛り上げていくのか

聞き手：SDGs、地域貢献の取り組みとしてフードドライブも実施されたとのことでした。

明東支店長：2023年12月に岐阜支店と大垣支店合同で、子ども食堂への支援を中心として実施しました。当初



【写真】
2023年12月に実施した「フードドライブ」では、店舗で一般のお客様から物資を募り、近隣子ども食堂へと提供した。岐阜県社会福祉協議会の小林常務理事(右)より感謝の言葉を頂戴した。

は食品だけを扱うものだと思っていましたが、飲み物やお菓子といった、単なる栄養摂取のためだけではない、暮らしを楽しむための素材提供も大事なのだということがよく分かりました。

もともと支店職員から「やってみたい」と提案があった取り組みで、県や市に相談したところ、のぼりの貸出など開催に多大なご協力をいただきました。地元紙で取り上げて戴いたこともあり、来店されたお客様が記事を見て持ち込んで戴ける等の反響もあり本当に良かったと思っています。

SDGsについては既に“当然に果たすべきもの”、“社会の一員として在り続けるがゆえに必要とされるもの”となっていると感じています。地域を盛り上げていこうという社内の活動は近年本格化してきましたが、各地域でどのような貢献ができるのかを、その支店の職員が考える取り組みを進めています。岐阜支店でも30近い提案が出てきましたので、やれることを全てやっっていこうと考えています。

聞き手: 職員の方が提案されたものを実現できるというのは、企業風土というのか、上司の方も含めた皆さんがそういうマインドなのですね。

明東支店長: 提案に対し「やってみたらいい」ではなく、実現を徹底的に応援しようという動きが社内で浸透してきます。役員から熱烈なチアアップもありますし、人間的、経済的な支援も含めて協力的で、職員も提案しやすい状況になってきました。

こういう活動では「自分ができることは何か」を先に考えてしまうと、行動は自分の領域に収まってしまう。「相手の立場に立って、相手のために何をやりたいのか」を考え尽くすと、取り組むべき目標が見えてきます。その目標に対して自分は何かができるのかをとにかく考え尽くそう、と常々言っています。

聞き手: それが人材育成にもつながっているのですね。

明東支店長: そうですね。考えるだけではダメ、いかにすぐ行動に移すか、そこから“違う”と分かったところを軌道修正し、フィードバックを受けてさらなるサービスの向上に努める、この繰り返しをいかにやり尽くすかだと思っています。職員にはこちらから単に答えを与えるのではなく、「どうすべきなのか、どうしたいのか」を問いかけながら、自ら考えることを根気よくチアアップします。この行動ができるようになると、自律的に行動改革を進められる人材が育つと思っています。

サービスの向上には観察力や想像力、分析力といった力が必要ですが、そのためには常日頃の自己研鑽も必要です。逃げずにチャレンジし続けられるように、皆で目指すべき目標や行動を壁に貼り出したりしながら、問いかけを

続け、人間力が磨かれるよう促しています。

■「世界が進むチカラ」を生み出すために

聞き手: そのために重要なことは何でしょうか。

明東支店長: 活動指針であるMUFG Wayを理解することも大事なのですが、自分が大事にしていること(=My Way)を理解し、2つがどこで重なるのかを考えます。自分がどういう生き立ちや経歴からどんな成功体験を積み、どんな失敗で落ち込んだのか、自分は何を大事にしているのか等をお互い発表し合う場を設けています。お互いの違う面が見えてくるとお互いの人間性をより理解でき、その上で仕事に臨めば相手を尊重できるようになり結束が固まります。

聞き手: 今後への展望についてもお聞かせください。

明東支店長: 足元一番の変化は「金利がある世界」に戻ったということです。お客様からお預かりする預金が利息を生む大切な資産に切り替わりますが、私を含めほとんどの職員は金利がある世界を経験していません。我々はお客様に提供できるサービスや機能をどう変えていくのか、日々模索し考察しているところです。また、DXの推進やスタートアップへの支援は、これらを広く知って戴く機会と場を設けることでお客様同士が繋がりが、技術活用や新事業、新商品の展開と“新たなステージ”に繋げ実現していく、そこに我々の役割があると信じております。

聞き手: 最後になりましたが、休日の過ごし方などもぜひ教えてください。

明東支店長: 週末はもっぱらゴルフですね。お客様からお誘いいただくこともあります。素晴らしいゴルフ場が高速道路から近く便利なところが多いです。

初任地は三重県で、その後も各地を転々となりました。今は単身赴任9年目です。食べ歩きや史跡・名勝巡りも楽しんでます。お酒も美味しく、岐阜を満喫しております。

聞き手: 本日は貴重なお話をありがとうございました。

聞き手 (一社)岐阜県経営者協会 広報部会委員

岐阜トヨタ自動車(株)

人事部 人事業務室長 **野々村 勤**

経協ニュース

パーソナリティ理解セミナー(第2回・3回)を開催

第2回 9月5日(木)

面接スキルアップのための勉強会として、講師に(株)ソフィア総合研究所 参与 松尾 祥子氏をお迎えし開催いたしました。

当日は12名の方にご参加いただきました。今回は全3回の2回目にあたり、人間行動を理解するための理論として交流分析の基礎(TA)について解説いたしました。

第3回 9月19日(木)

前回に続き、講師に(株)ソフィア総合研究所 参与 松尾 祥子氏をお迎えし開催いたしました。当日は12名の方にご参加いただきました。

今回は全3回の3回目にあたり、過去2回の内容の再確認とコミュニケーションの3原則を学び、グループディスカッションを通じて、人物像を見極めることへの理解を深めました。



第2回人事・労務セミナーを開催

9月11日(水) グランヴェール岐山において2024年度第2回人事・労務セミナーを開催しました。当日は58社84名にご参加いただきました。

今回は「問題行動社員のトラブル対応」をテーマに、残業を命令しても従わない、少し強めに指導しただけでパワハラという、SNSに会社の悪口を書き込む、コミュニケーションがとれない(報連相がない)など、問題行動を繰り返す社員への対応(懲戒処分)について解説していただきました。セミナー後の個別質問では多くの質問が寄せられていました。

第3回は11月27日(水)に「メンタル不調者のトラブル対応」をテーマに開催します。



岐阜県就職・転職企業説明会を開催

9月13日(金)じゅうろくプラザにて、2025年3月卒業予定の学生さん、既卒3年以内の求職者、45歳未満の若年求職者を対象とした合同企業説明会を開催し、企業9社にご参加いただきました。

参加学生は意欲的に多くのブースを回り、担当者からの説明を熱心に聞いていました。



岐阜学就連 共催「WEB企業研究会」を開催

9月18日(水) オンライン(Zoom)にて、岐阜県学生就職連絡協議会へ加入大学の学生を対象としたオンライン企業研究会を開催し、企業6社、視聴者約40名にご参加いただきました。

冒頭に会長校である中部学院大学 学生支援部キャリア支援センター事務課 課長 片岡 基靖様より、開会のご挨拶を頂いた後、各企業より業界に関してや、自社の特色についてご説明を頂きました。



更に副業・兼業について理解するセミナーを開催

岐阜支部

8月27日(火) 会場とオンラインでのハイブリッド形式にて開催し、23社より32人(会場9名、WEB23人)にご参加いただきました。

講師には、伏屋社会保険労務士事務所 副所長 加藤 大輝氏をお迎えし、テーマを「更に副業・兼業について理解するセミナー」と題してお話いただきました。自社で導入するには何を整えていけば良いのかについて解説頂きました。



第49回 中津川トップセミナーを開催

中津川支部

9月5日(木) パルティールアイ・パルティールプラスにおいて『第49回 中津川トップセミナー』を開催しました。

はじめに主管である中津川支部 橋口 正哉支部長(三菱電機(株)中津川製作所 所長)、本部を代表して山口 嘉彦会長(株)エスライングループ本社社長)より挨拶がありました。

続いて、働き方改革総合研究所(株) 代表取締役 新田 龍氏より『なぜあの会社は人が集まり、辞めないのか』と題して講演いただきました。講演会終了後には懇親パーティーを開催し、支部の垣根を越えての交流を図っていただきました。

翌日には記念ゴルフコンペを開催し、晴天のもと更に親睦を深めていただきました。



2024年 パソコンセミナーを開催

西濃支部

9月6日(金) 大垣市情報工房にて開催し、会員企業から13名の方に参加いただきました。指導は、グレートインフォメーションネットワークが担当しました。

今回は、「Excel 使い方改革、知らないと損する仕事術」をテーマにデータ入力が楽になる技、見やすい表をつくる技などを学びました。受講者は、テキストに提示された例題をもとに、関数の活用やグラフ作成などをおこない、理解を深めました。



飛騨支部実行委員会を開催 **飛騨支部**

9月17日(火) 高山商工会議所において飛騨支部 管理・監督者養成講座 実行委員6名にご参加いただき、実行委員会を開催いたしました。

11月20日(水)・21日(木)の開催に向け、参加者のグループ数、それぞれの担当箇所の確認を行いました。



第1回セミナーを開催 **各務原支部**

9月24日(火)、岐阜車体工業㈱の福利厚生施設「かとれあくらぶ」において開催し、15社30名にご参加いただきました。

講師には㈱都築産業 代表取締役 都築 力様をお招きし、テーマ「私が思う最強の組織図」と題してご講演頂きました。

セミナー終了後には昼食会を実施し、参加者の皆様と「かとれあカレーライス」を食べながら親睦を深めて頂きました。



岐阜県の最低賃金は51円増、
10月から1,001円に。

岐阜県 最低賃金

令和6年
10月1日から
時間額

1,001円



新規会員のご紹介

岐阜支部

■ 東海エポック株式会社

設立 1967年9月16日

所在地 岐阜市島栄町1丁目30番地

代表者 代表取締役 高橋 國浩

事業内容 石油製品全般の卸及び販売、車整備全般、車販売、カーリース、車検、钣金・塗装、洗車、コーティング、損保

～会員の皆さま～ 新規会員を募っています。

当協会では、より多くの県内経営者の皆様に岐阜県経営者協会をご利用いただきたく、新規会員企業を募っています。当協会の趣旨にご賛同いただける経営者の方がいらっしゃいましたら、事務局員がご説明にまいりますので、何卒ご紹介くださいますようお願いいたします。

岐阜経協の活動は、当協会ホームページ(<https://gifukeikyo.org>)でもご覧いただけます。

人と経営 10月号

(第73巻10号通巻565号) (2024年10月1日発行)

■編集発行人

広報部長 堀 部 友 里

■発行所

一般社団法人 岐阜県経営者協会

〒500-8833 岐阜市神田町2-2 TEL 058-266-1151 URL <https://gifukeikyo.org/>

■印刷・製本

株式会社印刷工房 〒501-0597 岐阜県揖斐郡大野町下磯750-1 TEL 0585-36-0201